

令和6年度 東員町総合計画効果検証委員会 主な意見

日時：令和6年10月23日（水）午後2時～

場所：西庁舎2階 201会議室

事項

1 あいさつ

2 第6次東員町総合計画の効果検証について

第2期東員町まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について

3 意見交換

2 ・第6次東員町総合計画の効果検証について 【資料1～4】

・第2期東員町まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について 【資料5～7】

3 意見交換

	第6次東員町総合計画の効果検証について
座長	委員の皆さんから意見をいただきたい。事項3の第6次東員町総合計画の効果検証についてなにか質問や意見があれば。
委員	総合学力調査（IRＴ）小学校、中学校のD層の割合について、民間の取り組みとして国語と算数及び数学の試験を全国の小中学校で受けるものであり、得点に応じ上位から25%区切りでA層からD層の判定をしている。 東員町ではD層の割合を10%にしようとしており、目標達成のためには教職員の指導力向上のほかにも様々な要因があるため目標の達成は容易ではない。「少人数授業の効果」、「ALTの実状」、「保護者、地域の協力」の要素を分析して欲しい。学び検定を生涯学習の目標として捉えるのはおかしいと感じる。
委員	他市町では幼稚園保育園でもデジタル化が進んでいる。東員町もそのような取り組みはしないのか。
事務局	デジタル化推進計画に基づいて進めている。幼稚園保育園のデジタル化は令和4年度に東員町は実施している。今後もデジタル化は進めていきたい。
座長	人・農地プランから地域計画に内容が変更されたところであるが計画策定はやはり難しいのか。
委員	行政も協力はしてくれてはいるが計画策定についてはやはり地域でまとめるのは難しい状況である。

委員	体育施設利用者数が減少している。料金の改定もあったことから、このままスポーツ人口が減ってしまうのではないかと心配している。
委員	空き家の有効利用として子育て世代の活動の場として使えないのか。
座長	空き家の所有者と利用したい方と上手くマッチングできるようにコーディネートしてくれるような機能があるとスムーズになるのかもしれない。
委員	公民館・文化会館利用者数について人口減少が進行してくるのでいつまでも右肩上がりの数値ではなく、維持もしくは減少のK P I も必要な時期になってくるのではないかと。また利用料金の改定もあるが利用者が納得できるようにして欲しい。
委員	特産品について産品は増加傾向にあるので次はもうかる仕組みづくりをしていかないといけない。
	第2期東員町まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について
委員	健康寿命について、東員町の高齢者は非常に活力があって元気だという印象がある。
事務局	東員町は健康寿命が長いことから、観光戦略で健康をテーマとした観光コンテンツに取り組む目標を掲げた。
委員	昔のおもちゃを収集していたりしていたなどで、まちかど博物館のようなおみごと認定制度があるなどはあるか。
事務局	現在のおみごと認定は特産品に対して行っている。プラムチャンネルや広報紙、おみごとプレスなどおみごとを紹介することは出来るので紹介していただければと思う。
委員	東員町の情報が放映されているプラムチャンネルの契約金額が高いと聞いたがどうなのか。
事務局	現在はケーブルではなくインターネット回線を利用したテレビの視聴方法が主流になりつつあるためプラムチャンネルの契約をしていない世帯も多くなっているのが課題。そのため広報紙に二次元コードを貼り付けYOUTUBE でも見られるようにしている。契約金額は事業者によって多少の違いはあると思われる。

以上